

## 会社情報 (2023年9月30日現在)

商号	SGホールディングス株式会社 (SG Holdings Co., Ltd.)
設立年月	2006年3月
資本金	11,882百万円
本社所在地	京都市南区上鳥羽角田町68番地
グループ人員	従業員数 93,638名 うち、パートナー社員等(期中平均) 40,837名
事業内容	グループ経営戦略策定・管理並びに それらに附帯する業務
発行可能株式総数	1,800,000,000株
発行済株式の総数	640,394,400株(自己株式14,926,839株含む)
株主数	25,218名

## 株主メモ

証券コード	9143
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後から3カ月以内
株主確定基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当3月31日、中間配当9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告とします。ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。電子公告は当社のWebサイトに記載しており、そのURLは次のとおりです。 <a href="https://www.sg-hldgs.co.jp/ir/notice/">https://www.sg-hldgs.co.jp/ir/notice/</a>
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
連絡先・郵便物送付先	〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話番号 0120-094-777(フリーダイヤル)



この印刷物のFSC®ラベルは、世界の森林資源の責任ある利用を保証します。

Webサイトでも情報を開示しています

▶ <https://www.sg-hldgs.co.jp>



当社のWebサイトでは、グループ企業の活動全般にわたる最新の情報をご提供しています。また、「IR・ESG情報」では、決算短信や決算説明会資料の掲載をはじめ、経営方針や経営戦略、各種お知らせなどを幅広く発信しています。財務情報や事業内容などについての詳細はWebサイトをご参照ください。

▶ <https://www.sg-hldgs.co.jp/ir/>

※ 株式や配当についての情報は、「IR・ESG情報」の「株式について」からご覧いただけます。

**SGホールディングス株式会社**



本号のキーワード

「海外通販  
まるごとサポート」

▼  
詳細はP5-6を  
ご覧ください。



SGホールディングス株式会社

# 株主通信

第18期 | 中間報告

2023年4月1日～2023年9月30日

SGホールディングス株式会社

証券コード:9143

ご挨拶



# Grow the new Story.

新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

代表取締役社長 **松本 秀一**

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在の社会・経済環境は、2023年5月から新型コロナウイルス感染症の法律上の取扱いが引き下げられたことで、各種制限が取り除かれ、景気は緩やかに回復しております。一方で、国内における物価上昇や為替相場での円安進行のほか、世界的な金融引き締め政策の継続や地政学リスクの拡大などを背景とした世界経済の後退懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

物流業界ではこのような変化に加え、いわゆる物流の2024年

問題(以下、「2024年問題」と呼ばれる、自動車運搬業務における時間外労働時間の上限規制への対応が求められております。「2024年問題」につきましては、2023年6月に政府より、荷主企業、物流企業、消費者が協力して輸送力不足に対応するための方針を示した「物流革新に向けた政策パッケージ」が公表されるなど、社会全体でこの問題に対処する機運が高まっております。

このような環境のもと当社グループでは、ラストワンマイルにおけるDXを活用した配達の効率化や、全国の営業所のスクラップアンドビルド、最新の物流機器の導入等、持続可能な物流を実現するためのさまざまな施策に取り組んでまいりましたが、これだけではサービス品質の維持が困難な状況であることから、2024年4月1日付で宅配便届出運賃等の改定をさせていただくこととなりました。

これからも社会インフラである物流を担う企業グループとして、高品質で魅力的なサービスを安定してご提供し続けることで、企業価値の向上を目指してまいります。

## 上期の業績と施策について

2024年3月期上期のデリバリー事業につきましては、消費の弱まり等の影響を受け、宅配便の取扱個数は減少いたしました。一方で、2023年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃収受の取り組みにより、平均単価は上昇いたしました。

ロジスティクス事業におきましては、物価上昇による金融引き締めなどを背景とした景気後退懸念や、米国での消費者マインドの停滞等の影響により、海上・航空貨物ともに取扱量が減少いたしました。また、海上・航空運賃につきましても底這い状況が継続しております。

この結果、上期業績は、連結営業収益6,433億円(前年同期比14.4%減)、連結営業利益386億円(同39.7%減)となりました。

## 下期業績の見通しと施策について

日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇や円安の進行、地政学リスクの拡大に伴う景気後退懸念等、先行きは依然として不透明な状況にあります。物流業界におきましては、足元では物価上昇などの影響を受けた宅配便の取扱個数の減少傾向が続くなど、不安定な事業環境が継続しておりますが、中長期的な観点で

はeコマース市場の拡大とともに、宅配便に対する需要も緩やかに増加すると想定しております。このような環境を踏まえ当社グループでは、先般公表させていただきましたとおり、宅配便の増加が見込まれる東京エリアにおいて大型中継センターの建設を計画しております(2026年2月稼働予定)。また、インフレの進行や世界経済の停滞といった中期経営計画策定時からの環境変化を踏まえ、従業員の待遇改善やパートナー企業様との連携強化による社内外リソースの強靱化と、サービス領域拡張による成長基盤の確立を強化ポイントとして各種施策に取り組んでまいります。

2024年3月期の連結業績予想は、上期の業績と今後の景気動向を踏まえて見直し、営業収益は1兆3,400億円、営業利益は915億円を見込んでいます。

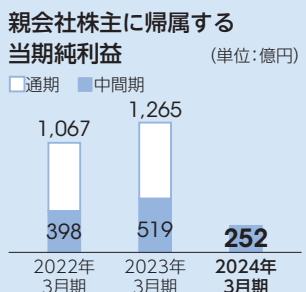
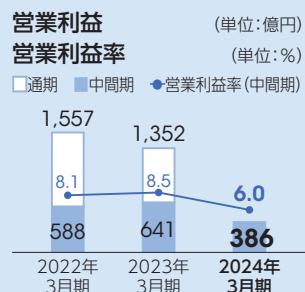
## 株主還元について

2024年3月期の中間配当は、2023年4月に公表した配当予想のとおり、1株当たり26円とさせていただきます。年間配当は、2024年3月期は減益を見込んでおりますが、安定的な配当により株主の皆さまに未永く当社株式を保有していただくために1円増配の52円を予定しております。

また、2024年3月期上期におきましては、株主還元の強化と資本効率の向上を図ることを目的として、自己株式取得を100億円規模で実施いたしました。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績の推移



## 2024年3月期 連結業績予想および配当予想

営業収益	1兆3,400億円(前期比7%減)	営業利益	915億円(前期比32%減)
営業利益率	6.8%(前期比2.6ポイント減)	経常利益	925億円(前期比33%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	615億円(前期比51%減)	1株当たり配当金	52円(前期比1円増)

# セグメント別概況

※ セグメント間の営業利益の調整額は11億円です。



## デリバリー事業

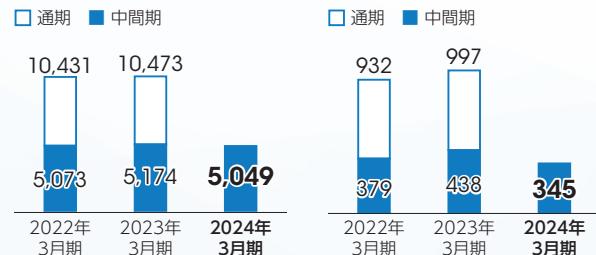
営業収益別  
構成比  
**78.5%**

### 2024年3月期上期の概況と取り組み

グループの中核を担う当事業は、単なる輸送サービスにとどまらず、グループ各社との連携により、国内外問わず物流面からお客様の課題を解決するソリューションをワンストップで提供しています。佐川急便の飛脚宅配便を中心に、TMS、大型家具や家電などの組み立て・設置など、輸送に関わるさまざまなサービスを展開しています。

2024年3月期上期においては、物価高騰による家計の消費支出の弱まり等が影響し、取扱個数は前年を下回りました。一方、平均単価は相対的にサイズの小さい荷物が増加したことによる押し下げ要因があるものの、適正運賃受取の取り組みにより645円(前期比3円増)に上昇しました。また、2023年4月から「配達予定通知」や「お荷物問い合わせサービス」等がご利用いただける「佐川急便LINE公式アカウント」を開設するなど、各種デジタル化の推進による生産性やお客様の利便性の向上への取り組みも継続して行っています。

営業収益 (単位:億円) 営業利益 (単位:億円)



## ロジスティクス事業

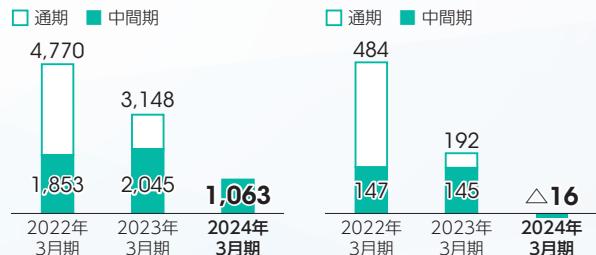
営業収益別  
構成比  
**16.5%**

### 2024年3月期上期の概況と取り組み

当事業は、倉庫での保管、流通加工、通関、フォワーディングなどの国内外における包括的な物流ソリューションを提供しています。海外での事業については2014年にエクスポランカ社を傘下に加えたことを契機に、従来の日本を軸とした輸出入に加え、日本以外のアジアから欧米などグローバルネットワークを活用した国際輸送を展開しています。

2024年3月期上期は、国際フォワーディングにおいて、物価上昇による金融引き締めなどを背景とした景気後退懸念や、米国での消費者マインドの停滞等の影響が継続しており、海上・航空貨物ともに取扱量が減少しました。また、海上・航空運賃については底這い状況が継続しています。

営業収益 (単位:億円) 営業利益 (単位:億円)



## 不動産事業

営業収益別  
構成比  
**0.6%**

### 2024年3月期上期の概況と取り組み

当事業では、新規物流施設の開発を通じたグループの競争力向上に取り組んでいます。また、老朽化した既存施設および物流効率の低い施設の大規模修繕やバリューアップにより、全国の輸送インフラの最適化を実現しています。

また、グループ各社の不動産ニーズを踏まえ、グループ施設の安定稼働と機能の強化に取り組むとともに、これまで培った不動産ノウハウを活かし、資産価値を向上させるための戦略的な投資を実施していきます。

2024年3月期上期の業績は計画どおり進捗しています。

営業収益 (単位:億円) 営業利益 (単位:億円)



## その他の事業

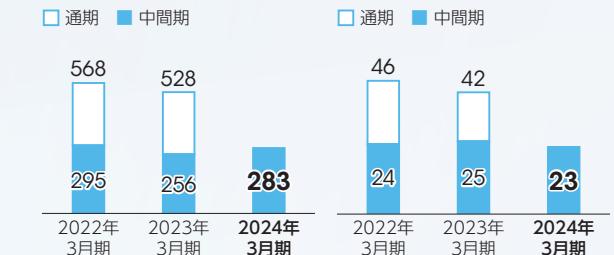
営業収益別  
構成比  
**4.4%**

### 2024年3月期上期の概況と取り組み

その他の事業では、お客さまに提供する提案やサービスの品質を向上させるために、物流に付帯する各機能を担うほか、トータルロジスティクスを支える付加価値を創出、提案、提供しています。また、グループ内の業務効率向上に寄与する機能も担っています。

2024年3月期上期においては、半導体不足等の影響で不振であった新車販売が回復いたしました。

営業収益 (単位:億円) 営業利益 (単位:億円)



特集

# SAGAWAの海外通販まるごとサポート

～輸送からマーケティングまでトータルでおまかせ～

## 面倒な手続きを当社グループが解決!

ネット通販が浸透し、どこにいても世界中の商品を購入できるようになりました。今後さらなる成長が期待されている世界の越境EC市場に参入するお客さまをサポートするために、当社グループでは、販売先の紹介からエンドユーザーへのお届けまでのトータルサポートを提供しています。これにより、お客さまの海外進出をより簡単にします。

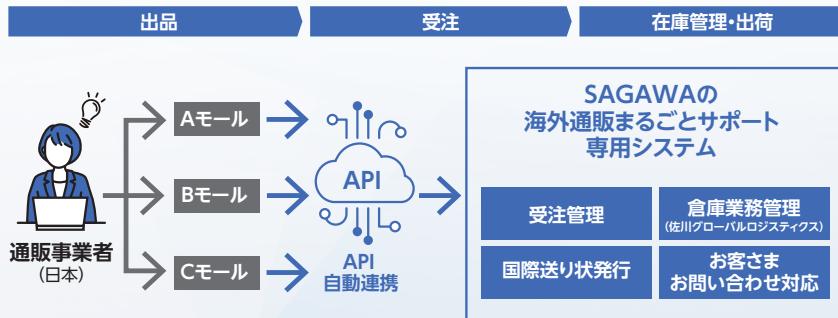
成長する世界の越境EC市場 7兆9,380億USD



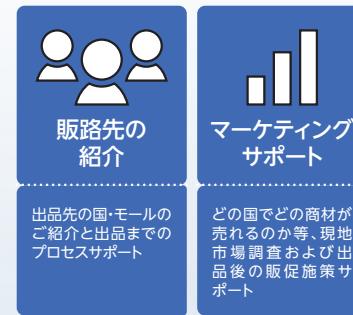
経済産業省「令和4年度デジタル取引環境整備事業(電子商取引に関する市場調査)」より

## 物流だけじゃない!海外通販まるごとサポート

サービスのフロー



物流以外のサービスも!



## お客さまが抱える課題 CASE 1

地域産品を海外で販売したいけど、地元企業の方々に販路や物流などを一から対応してもらうのは大変



自治体A



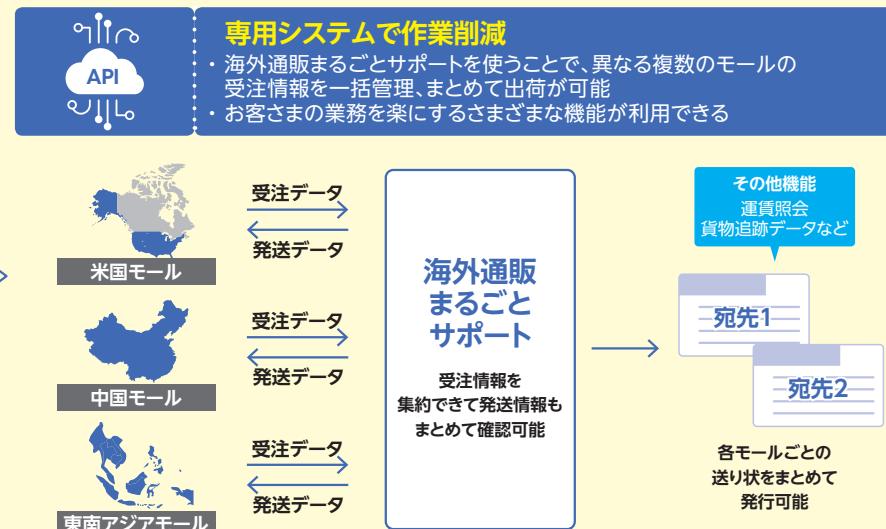
当社グループはこのサービスを通じて

## お客さまが抱える課題 CASE 2

複数の海外ECサイトに出品したいけど、各サイトによってシステムがバラバラで出荷作業が煩雑になってしまっている



通販事業者B



お客さまの海外展開をサポートします